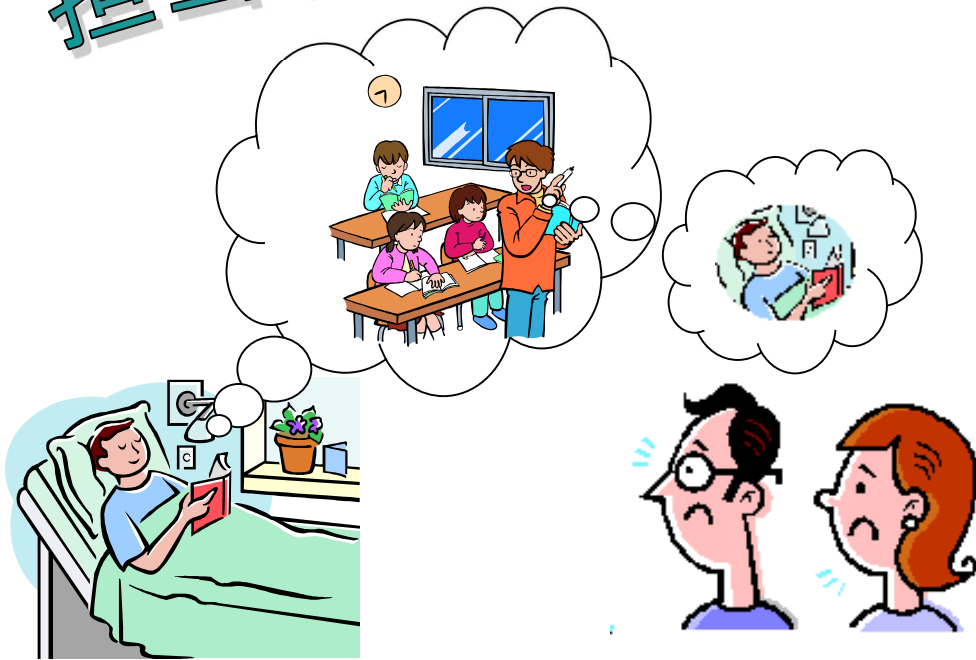


入院中の生徒を 担当する先生方へ



担任の先生におかれましては、生徒が長期入院ということで何かとご心配かと思ます。

それでも、入院している生徒や、保護者への対応、学級の生徒への説明や不安の軽減などの配慮、その他転籍に伴う書類作成など担任の先生の負担が増えることも事実です。入院中の生徒や保護者の方とよりよい関係を築くことは、生徒が御校に戻ってからの学級運営にも大きく影響しかねません。

本紙は、先生方のご負担を軽減できるように、どのように入院中の生徒児童や保護者と関わっていくか、どのような手続きが必要になるかの参考例を記載させていただきました。

玉穂中学校下河東分校

住所: 中央市下河東1110

TEL :055(274)1244

Fax :055(274)1244

E-mail :bunkou001@tamaho-jhs.city-chuo.ed.jp

転出・転入について

◎手続きはどうするの…

手続きは、基本的に院内学級に通う生徒の保護者が行います。院内学級のある中央市と生徒の本来の学区(御校)に転校に関わる書類を提出することになります。

◎入学・卒業式をまたぐ入院はどうなるの…

入院期間が小学校卒業から中学校にまたぐ場合、院内学級から地元の小学校に再度転籍し、卒業式を行います。その後、進学予定の中学校(御校)で入学式(病状によっては欠席)を行った後、再び院内学級への転籍手続きを行います。

そのため、在籍名簿・在籍学級決定・指導要録の作製などは、御校で行っていただきます。なお、指導要録は転籍の際に院内学級宛にご送付下さい。

◎年度をまたぐ入院はどうなるの…

年度末になっても退院の見込みがない場合は、院内学級で進級を迎えます。とくに手続きなどはありませんが、生徒が退院後にどの学級に所属するかの検討をしておいていただくと助かります。生徒によっては、退院後級友の手を借りる必要がある場合もありますのでご配慮をお願いします。

なお入試については、本人の体調によって、医師の判断の下、医師・希望進学と相談した上で対応していきます。

◎進路に関係した手続きは…

4月から進路関係の配布物を院内学級宛にFAXをお願いします。院内学級でも進路指導は行いますが、中学3年時の11~12月頃、御校に書類上転籍し、入試書類を御校で作っていただきます。この期間生徒は院内学級でのスクーリングとなるため、県の方針により出席簿の扱いは欠席となります。長期欠席が予定されますので、入学者選抜実施要項の指定書式「欠席日数の多い生徒に関する事情説明書(様式26)」に入院理由、入院中の学習の様子を添えることとなります。

願書作成上必要な情報は、こちらから送付させていただきますが、ご不明な点がある場合は、お気軽にご連絡下さい。

なお、中学3年生で、11月以降に入院する生徒は、学習サポートとしての対応とさせていただきます。この場合、転籍はせずに、生徒に必要な補習授業のみを、院内学級で行い、進路の手続きは、御校で行っていただきます。



事務的な手続きについて



◎教材の注文は…？

中学1年生の最初の教科書は、御校で手配していただくことになります。進級時などの教科書の切り替えは、院内学級で行い、玉穂中学校で利用しているものとなります。また、保護者より御校と同じ教科書を使いたいという希望があった場合、こちらから御校に連絡させていただくことがあります。

◎副教材は…？

副教材は、3年間を通して、御校に手配していただくことになります。費用は保護者を通して、御校に納めることになります。お手数ですが、退院後の生徒が違和感なく学習に取り組めるようにご理解をお願いします。

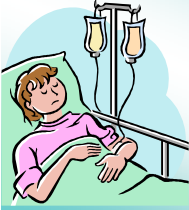
◎学年費や、積み立ては…？

退院時期が未定で長期にわたる治療の場合、思わぬ行き違いを防ぐためにも、院内学級への転籍後は、学年費や積み立てを停止し、一度精算することをお勧め致します。修学旅行などの積立金は、退院後の転籍のときに再度御校で徴収をお願いします。

その他

定期テストの範囲表と試験問題を送付していただくと助かります。生徒にとって退院後の授業のレベルがどの程度要求されているか、友達の頑張りがどの程度かを把握しやすく、入院期間の学習意欲の向上につながります。範囲表は、FAXやMailでお送り下さい。試験問題は、試験実施後で構いません(院内学級でも個々の学習進度に応じて試験問題を作成することもあります)。





「僕には、2つも教室があるんだ！」

これが院内学級に所属している生徒の実感です。

院内学級への登校は転籍扱いとし、転校と同じ手続きを行います。生徒の多くは、元の教室に戻っていきます。そこで、先生方には無理のない範囲で“生徒が戻ってきやすい教室作り”に協力していただけるようお願いいたします。

★教室に生徒の名前で所属感を！

生徒の氏名は院内学級への転籍と共に、御校の出席簿やその他公的資料からは外されます。しかし、年度開始のクラス名簿など、差し障りのない範囲で入院中の生徒氏名があると、学級間での仲間意識がアップします！入院中の生徒にとっても大きな励みです。転籍中であっても、ぜひ生徒の氏名を載せていただくと助かります。

★学年・学級通信・宿題プリントを生徒の家に！

各種お便りを入院中の生徒の分も用意して下さい。金曜日に数週間分を封筒に入れ、生徒宅に届けていただくと助かります。生徒には、見舞いに来ている保護者から院内学級に届けられます。家庭を通した連絡を行うことで、先生方の負担を減らし、保護者との関係作りもできます。

★掲示物への参加を！

年度初め・学期はじめの目標などの掲示物のひな形をFax・Mailで院内学級へ送付して下さい。入院中の生徒に同じ作業をさせることで学級への連帯感を高めます。

★その他～過去の各学校での取り組み～

学級交換日記 行事ごとの写真交換 インターネットを使ったメール交換 などなど
※このほかにも教科や総合の時間の取り組みも資料を送付いただければ、こちらの授業で扱うことも出来ます。

★負担にならず、ささやかな“繋がり”を…

退院後の中学校での生活で環境の変化にストレスを感じる生徒が多いようです。退院後に生徒が感じるものは、学力不足ではありません。入院中に参加できなかった学校行事や学級での生活に速やかに対応できるよう、先生方には無理のない範囲での対応をお願いいたします。

